



乾杯を  
もっとおいしく。

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

## 地域の食産業を支援する「地域創生事業」を本格展開 「北の“新顔”冬野菜」生産者と飲食店を マッチングする北海道の公募事業を受託 地域食材ブランディングや販路開拓サポートで地域を元気に！

サッポロビール（株）は、2019年から推進している「地域創生事業」の活動で、このたび北海道が公募した2024年度の「新顔冬野菜推進事業委託業務」を当社が受託しました。

当社は長きにわたり培った飲食店との連携ノウハウなどのリソースを地域の活性に役立てるべく、食を通じた地域産業支援として2019年から地域創生の活動に取り組んできました。このたびサッポロビール創業の地である北海道からの公募事業受託によりその活動を本格展開させます。

「北の新顔冬野菜」は、冬の寒さにより甘みが増すなどの特長を有する「冬季無加温栽培ちぢみほうれんそう」や高価格での取引が期待される「伏せ込み栽培アスパラ」など、北海道の気候を活かした栽培技術や出荷が少なくなる端境期に生産・出荷される冬野菜です。冬季の北海道は農作物の収穫が少なく、生産者の確保などが農業経営の課題となっていました。当社は、この公募事業の受託にて「北の新顔冬野菜」を生産・販売する事業者と飲食店のマッチングを支援することで販路拡大を図り、北海道の農業の課題解決に取り組めます。また2025年1月22日から1月28日に東京都内有楽町の「北海道どさんこプラザ有楽町店」で、1月29日から2月4日に羽田空港の「北海道どさんこプラザ羽田空港店」で、催事販売のフェアを開催することで、認知向上と需要の拡大を図ります。

当社にとって、食を通じてお客様に豊かで幸せな人生をお届けすることは、サッポログループの経営理念および提供価値に通じる取り組みであると考えています。酒類を生業とする当社が培ったリソースを地域の持続的な発展に貢献すべく、また当社の事業活動にご支援をいただいた全国各地への恩返しの意味を込め、これからも様々な地域の課題にとともに向き合った活動を推進します。サッポログループのサステナビリティ方針(注1)「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもと、今後も社会共栄に関する活動を一層強化しながら、取り組みを進めていきます。

(注1) <https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/>

### ■地域創生事業について

「継続的に地域課題の解決に貢献する」ことを目的とし、地方自治体の事業を受託することで地域食材ブランディング・販路開拓サポートを担う活動です。サッポロビールのフードビジネスサポートグループでは外食企業様の食材調達をサポートするなかで、毎日のように外食企業様のニーズを聞く一方で、廃業していく生産者の現状にも直面してきました。そこで両者を適切につなぐために日本各地の自治体や地域の生産者を支援する活動として、この活動を開始しました。当社が長きにわたり培ってきた外食企業様との連携ノウハウを生かし、2019年から自治体が公募する地域食材の紹介を通じた生産者と飲食店をマッチングするイベントの実施やメニュー開発を、事業受託によりサポートしています。日本全国各地の地域食材の継続的な取引や地域の売りに貢献し、日本の食産業の持続的な発展を支援しています。



■受託事業概要について

1. 受託自治体 北海道
2. 受託案件名 新顔冬野菜推進事業委託業務
3. 実施内容
  - ・有楽町「北海道どさんこプラザ有楽町店」、羽田空港「北海道どさんこプラザ羽田空港店」での催事販売の実施
  - ・北海道内飲食店等での新顔冬野菜フェアの開催
  - ・新顔冬野菜の需要拡大のための広報活動（注2）

（注2）北の新顔 冬野菜 | 新たな冬のごちそう、北海道から。<https://shingao-fuyuyasai.pref.hokkaido.lg.jp/>

以上